

2020 AUTUMN

続空想

特集

日常の中に静謐なひととき。
～写経を始めてみませんか？



洗練の意匠を纏う美しき聖地
横浜あおば霊苑

YOKOHAMA AOBA CEMETERY

いつでも逢いに行ける軽快なアクセス。



お車でも、電車でも。
様々な交通機関が利用可能です。

東名高速道路

「横浜青葉I.C.」より車で約**7分**

東名田園都市線

「青葉台」駅より車で約**8分**

小田急線

「新百合ヶ丘」駅より車で約**9分**

東急田園都市線「青葉台」駅・「市が尾」駅、
小田急小田原線「柿生」駅より
路線バスをご利用いただけます。

【横浜あおば霊苑概要】

- 所在地 / 〒225-0025 横浜市青葉区鉄町1777-1
- 敷地面積 / 30,804.12m² ●墳墓面積 / 5,126.48m²
- 総区画数 / 3,620区画 ●付属施設 / 管理事務所、トイレ、休憩室、法要室、水場、駐車場 ●駐車場台数 / 182台 ●事業主 / 宗教法人 宗英寺 ●事業委託者 / 日本国土開発株式会社 ●墓地経営許可 / 横浜市健生活指令第18号

横浜あおば霊苑

検索

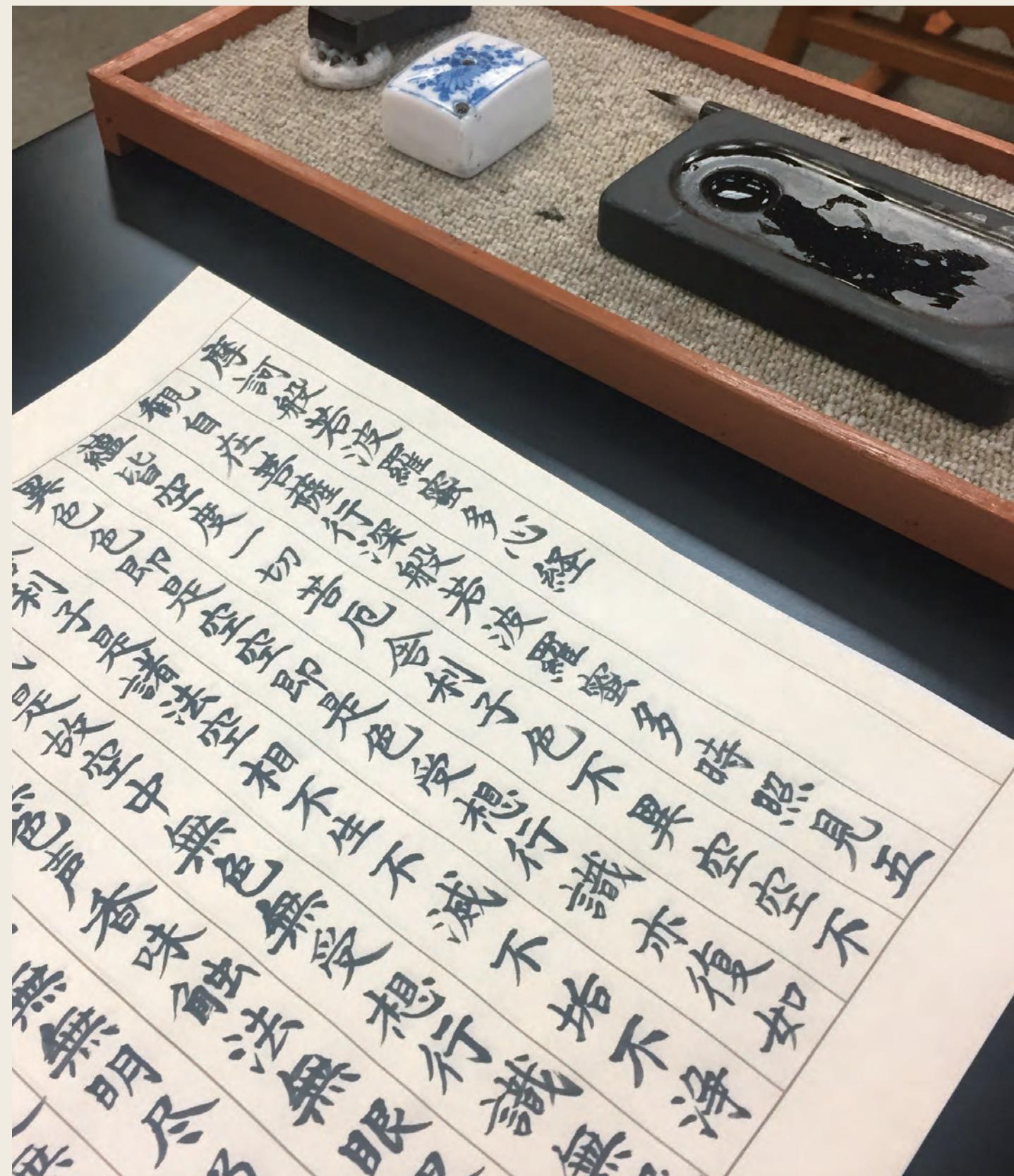
www.yokohama-aobareien.or.jp

お問い合わせは
〔横浜あおば霊苑〕管理事務所
☎ 0120-855-223

詳しくは、
ホームページで
ご覧いただけます。



日常の中にも静謐なひとときを。 →写経を始めてみませんか？



慌

ただしい日常の中で、この頃、落ち着いた時間を過ごせていない方の少くないのではないでしようか。時には静かな時間を過ごし、心をすっきりさせたいと思いませんか。そうした方に、ぜひおすすめしたいのが写経です。

写経とは？

写経とは、文字通り「仏教の經典、を書写すること」です。写経はそもそも、仏道修行として広まり、大願成就を祈ることから始まりました。信仰や祈願、供養のために行われきたといえるでしょう。しかし、現代においては、精神が安定し、清々しい気分になれると、写経に取り組む方が増えています。

本格的な写経は筆で

本格的に写経をするなら、硯で墨をすり毛筆で書くのがおすすめです。本来の作法でもありますし、時間をかけて墨をすることで心を落ち着けることができるため、写経に取り組む姿勢が整ってきます。

写経の体験は、各地のお寺で行われています。厳粛な雰囲気の中での写経は、非日常の経験となり、ひとときわ心穏やかで、清々しい気分を味わうことができる

ではありません。お寺によって、写経の教本の種類が異なるほか、必要な道具も持参や貸出しなども違いますので、事前に調べて参加しましょう。

自宅で写経に取り組むこともできます。まずは部屋をきれいにし、写経に集中できる環境を整えます。仏壇がある部屋なら、お線香をあげることも良いでしょう。書き上げた写経は仏壇に供えるなど、丁寧に扱うことが大切です。自宅で書いた写経を

奉納してくれるお寺もありますので、問い合わせてみるのも良いのではないでしょうか。

写経体験の方法は？

写経の体験は、各地のお寺で行われています。厳粛な雰囲気の中での写経は、非日常の経験となり、ひとときわ心穏やかで、清々しい気分を味わうことができる

ではありません。お寺によって、写経の教本の種類が異なるほか、必要な道具も持参や貸出しなども違いますので、事前に調べて参加しましょう。

自宅で写経に取り組むこともできます。まずは部屋をきれいにし、写経に集中できる環境を整えます。仏壇がある部屋なら、お線香をあげることも良いでしょう。書き上げた写経は仏壇に供えるなど、丁寧に扱うことが大切です。自宅で書いた写経を

写経では般若心経を書くのが一般的です。わずか300字足らずの文に大乗

写経用紙・お手本のセットなども販売されています。

写経では般若心経を書くのが一般的です。わずか300字足らずの文に大乗

写経用紙・お手本のセットなども販売されています。

横浜あおば靈苑事業主、宗教法人宗英寺では、写経会を行っております。

詳しくはこらまで。

横浜あおば靈苑事業主、宗教法人宗英寺では、写経会を行っております。

清々しい自然の下で 彼の人とつながる

横浜 浜あおば霊苑があるのは、横浜市青葉区の高台。遠く丹沢山系や富士山まで見晴らせる丘に、公園霊苑が広がっています。

入口から苑内へと上のアプローチには、トキワマンサクの緑が連なります。秋、紅葉が私たちを迎えてくれました。黄色からオレンジ、そして深紅へときれいなグラデーションを見せるモミジの葉。爽やかに吹き抜ける風に葉が舞い落ちます。苑内にはツゲ、マキ、オウゴンマサキ、トキワマンサクなどが葉を茂らせ墓域を囲みます。豊かな緑が亡き人たちを守り、慈しむかのように……。

墓前に手を合わせて、ふと空を見上げると、きれいな青空が広がっていました。この大きな空は、きっと、大切な人たちとつながっていますね。そう思い、もう一度、手を合わせました。ここにいます、一緒にいますよと。あずま屋で休んでいると、小鳥の鳴き声が聴こえてきて、自然の中で散策を楽しんでいる気分になります。こんな気持ちは不謹慎かと思いながらも、私たちが心安らかである姿を貴方が見ていてくれる気がしました。大好きな貴方の笑顔が浮かんできます。

が聴こえてきて、自然の中で散策を楽しんでいる気分になります。こんな気持ちは不謹慎かと思いながらも、私たちが心安らかである姿を貴方が見ていてくれる気がしました。大好きな貴方の笑顔が浮かんできます。

巡りゆく季節の中で 様々な景色と出会う

モミジ

モミジが葉を落とし寂しげな季節が訪れても、常緑の木々は変わることなく墓域を守り、亡き人たちの心を癒してくれているかのようです。早春にはザンカ

の真っ赤な花が彩りを添え、梅の香りが春の足音を感じさせてくれます。待ちわびた春、咲き誇る桜が迎えてくれました。レンギョウの花も黄色く輝いています。青空とのコントラストも美しくて……。きっと、貴方も好きでしよう、この景色が。そう思つて笑みが浮かびます。

晩春の真っ赤なツツジは足取りを軽くしてくれ、梅雨の季節には、情緒あるアシサイの淡い青色が心を潤してくれました。この丘に漂う優しい空気感や自然の風景は、いつも、私たちの心に寄り添ってくれるような気がします。そして、この美しい景色を一緒に見ているのだと思える時、心静かに想うことができます。大切な人のことを……。

蟬しぐれに包まれて、見上げるのはサルベリの薄桃色。その可憐な花に心惹かれます。黄色く輝くオウゴンマサキの葉が風に揺れる、まぶしい夏。また会いに来ました、貴方に……。この丘に会いに来ました。



管理棟前に可憐なサルベリが花を咲かせます



広い参道の傍らにはツツジが色を添えています



梅雨の季節にも目を楽しませてくれるアジサイ



お参りの時、ちょっとした休息ができるあずま屋



トキワマンサクやツツジの植込みが続く参道



絵画が飾られ、水盤のきらめきが美しいロビー

先祖へ、彼の人へ

それぞれの想いを形に

苑 内には、整然とした中にも多彩な
バリエーションの区画を配置して

います。一般区画のほか、芝生の中に墓所を設置した芝生区画、小家族向けの憩い墓など、特徴のある区画があります。さらに、承継される方がいるなくても当苑が責任をもって供養・管理をさせていただきます。ご利用の方にはペット専用のペット墓をご利用いただけます。

全ての区画においてプライバシーに配慮し、ゆったりとした墓苑設計としています

ので、落ち着いた語らいのひとときをお過ごしいただくことができます。

当苑は、宗旨・宗派を問わずにご利用いただけます。管理事務所でご希望の宗派に合わせ僧侶の手配もしておりますので、気軽にご相談ください。

故人への想いや供養の形は、人それぞれででしょう。さまざまなニーズに対応できるよう多彩な区画やサービスを提供し、丁寧に人に寄り添う公園墓苑であり続けることを心がけております。



初夏にはあじさいが花開き丹沢の峰々をのぞむ「あじさい」区

各種ご案内

永代供養システム

墓所契約者様に、当靈苑が永代に亘って供養する永代供養システムを承っております。



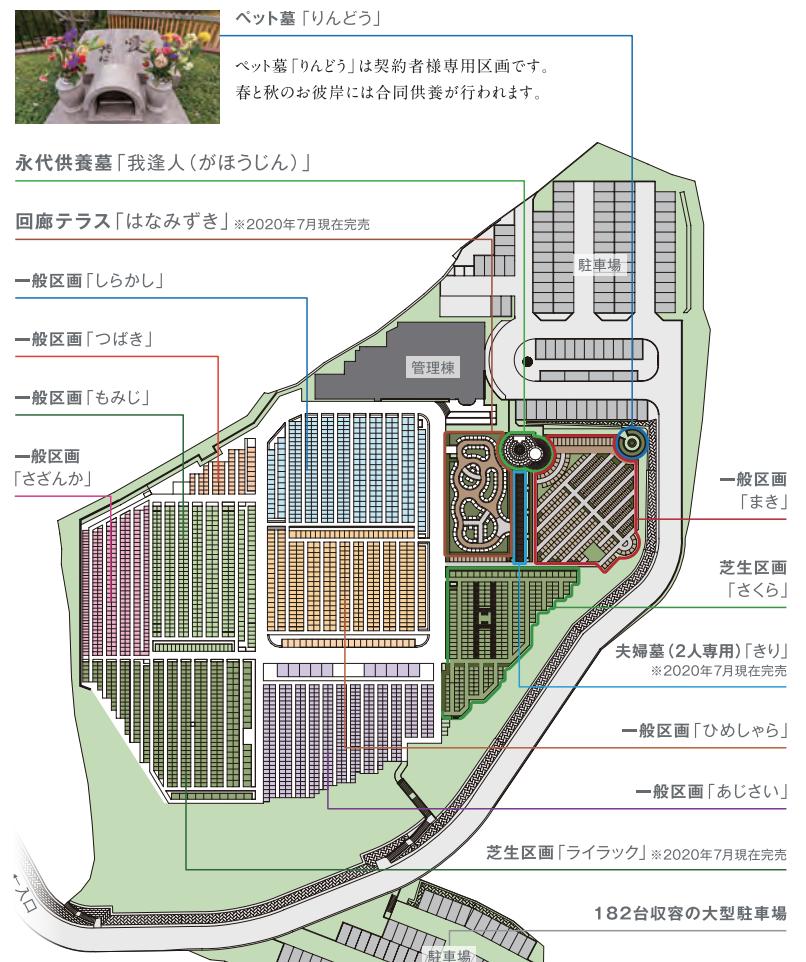
墓参代行／清掃代行

お仕事の都合や体調の関係でお墓参りになかなか行けない方のために当苑が代わってお墓参りや清掃代行を行っています。



管理棟

管理棟には、回忌などのご法要に応じて、ご利用いただける法要堂や、休憩・お食事などができるスペースがございます。また、墓参用の供花・お線香も、ご購入いただけます。



お参りの際に、ご活用ください。

お彼岸・お盆の時期に無料送迎バスが運行されます。

お参りの際に、ご活用ください。



墓じまい

時代とともに
変わるもの

供養の形に
寄り添つて



近 年、少子高齢化や非婚化が

進むなかで、お墓についての考

え方が変わってきた。お墓の後継

者がいないケースもありますが、夫婦そ

れぞれが両家のお墓を守っていくこと

が難しい、遠方にお墓があつて気軽にお

墓参りができない、お墓のことで子供

に負担をかけたくないといった理由から、墓じまいをする人が増えています。

墓じまいとは、これまでのお墓を

撤去・処分し、更地にして靈園やお

寺に返還することです。墓じまい

して、永代供養など別のお墓へご遺骨を移動・引越し（改葬）を行う人

は増加しています。

横浜あおば靈苑には、永代供養墓をはじめ、広さやタイプの豊富な区画があり、墓じまいや改葬に関しても、丁寧にサポートさせていただい